

取扱説明書

マルチスライス&ブレンダー

型式/
SB-20N

- このたびは、JOYTECマルチスライス&ブレンダーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

も く じ

■安全上のご注意	1
■各部のなまえとその働き・付属品	4
■排水について	5
■注意ラベルの貼付位置	5
■設置と運転前の確認	6
■ご使用方法	7
●操作パネルの説明	8
●運転の準備	9
●フローズンドリンクを作る場合	10
●かき氷又はクラッシュアイスを作る場合	11
●ミキサーとして使う場合	12
●プロテクターについて	13
●安全スイッチについて	13
■刃物の交換のしかた	14
●スライス刃物の取り外し・取り付け方	14
■お手入れ	15
●毎日のお手入れ	16
●一週間に1回のお手入れ	17
●汚れが目立つときのお手入れ	18
■点検	19
●1年に1～2回の点検	19
●保管方法	19
■故障の見分け方と処置方法	20
■譲渡・廃棄	21
■仕様	22
保証書・アフターサービスについて	巻末

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

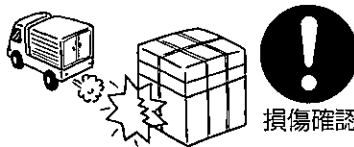
図記号の例

	感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	分解禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用すると、感電、火災、ケガの原因となります。



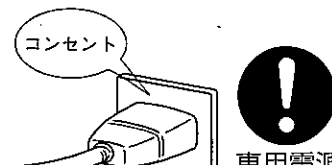
アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）



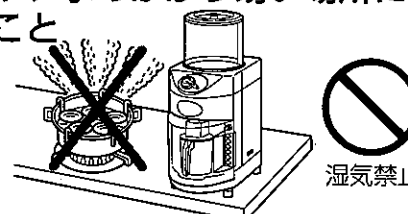
電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

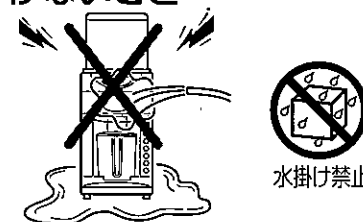
感電、ケガの原因になります。



警告

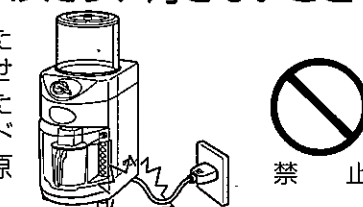
製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



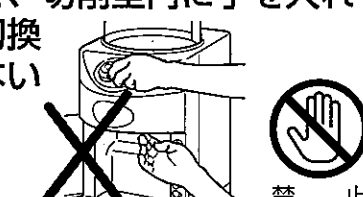
運転中に投入口フタを開けたり、切削室の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。



掃除や点検などで、切削室内に手を入れるときは、刃物切換レバーを動かさないこと

ケガの原因になります。



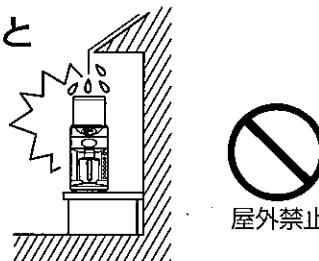
漏電遮断器を使用している場合、OFF（切）に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理にON（入）にすると、感電や火災の原因になります。



屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電・感電の原因になります。



異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



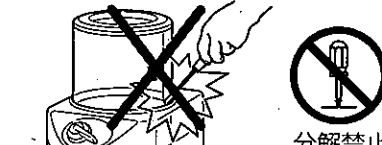
切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



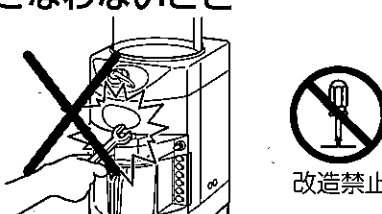
修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと（刃物交換・お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



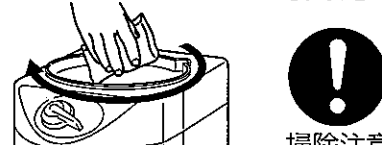
氷出口や切削室内に手、指を入れた状態で刃物切換レバーを切り換えないこと

指をはさみ、ケガの原因になります。



切削室内を掃除する時は、必ず刃物を切削室内面より下げ、拭く時は必ず時計方向に拭くこと

ケガの原因になります。



各部のなまえとその働き

■使用目的

- ①キューブアイスを使用して
 - フローズンドリンク
 - スライス氷（かき氷）
 - クラッシュ氷
 以上のものを作る製品です。
- ②ミキサーとしてお使いいただける製品です。
果物・野菜などをミキシングします。
キューブアイスや冷凍食材相当の硬いもののミキサーとしては使用できません。

※キューブアイスとは製氷機でつくる約3cm角の氷です。
・ロックアイス（不定形の氷）は、約3cm角にしてからご使用ください。

■本体

- 投入口フタ**
開けて氷を投入します。この下に切削室があります。
- 刃物切換レバー**
スライスとクラッシュを切り換えます。
- ボトルフタ**
ボトル内の内容物のもれを防ぎます。
- ボトル**
削られた氷と果汁を攪拌します。

- ストッカーカバー**
フタを取ると氷の投入口があります。
- ストッカー**
内部にあります。
- 頭力バー**
- 電源スイッチ**
運転・停止の操作に使用します。
- 操作パネル**
フローズンドリンクの各メニューを操作します。
- 電源コード**
先端のプラグを単相100V専用コンセントにつなぎます。
- アース線**
万一の感電防止のため必ずアース工事をします。

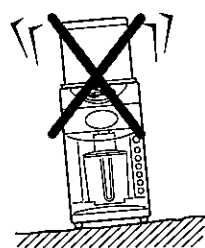
■付属品

- ボトルフタ（1枚）
（ミキサー用）
- カップリングカバー（1枚）
（かき氷用）
- 排水ホース（1個）
- 取扱説明書（本書）

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

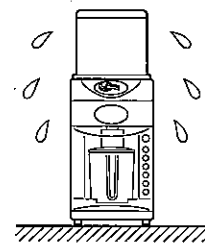
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

水滴が落ちてもしよいところに据え付けること

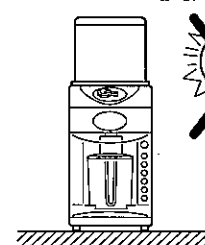
結露の水の洩れ、かき氷の飛び散りなどで周囲の機器を濡らすことがあります。



設置場所

直射日光の当たるところで使用しないこと

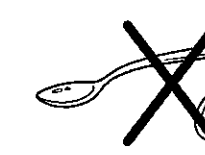
プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

切削室の中に氷以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



異物禁止

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグを抜き、削った氷は捨て、氷以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）や刃物の破片が切削室の中に入らないことを確認すること

ケガの原因になることがあります。



異物確認

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグも抜くこと

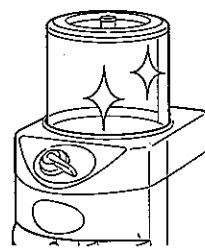
思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出してケガの原因になります。



プラグを抜く

切削室・氷出口は使用前に必ず掃除をすること

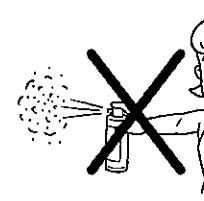
掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康被害の原因になることがあります。



掃除

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

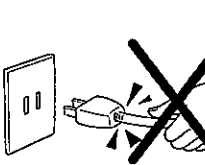
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

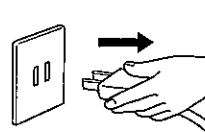
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

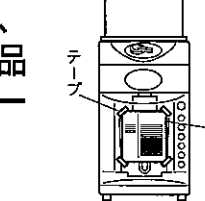
廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃棄は危険な物として処理してください。



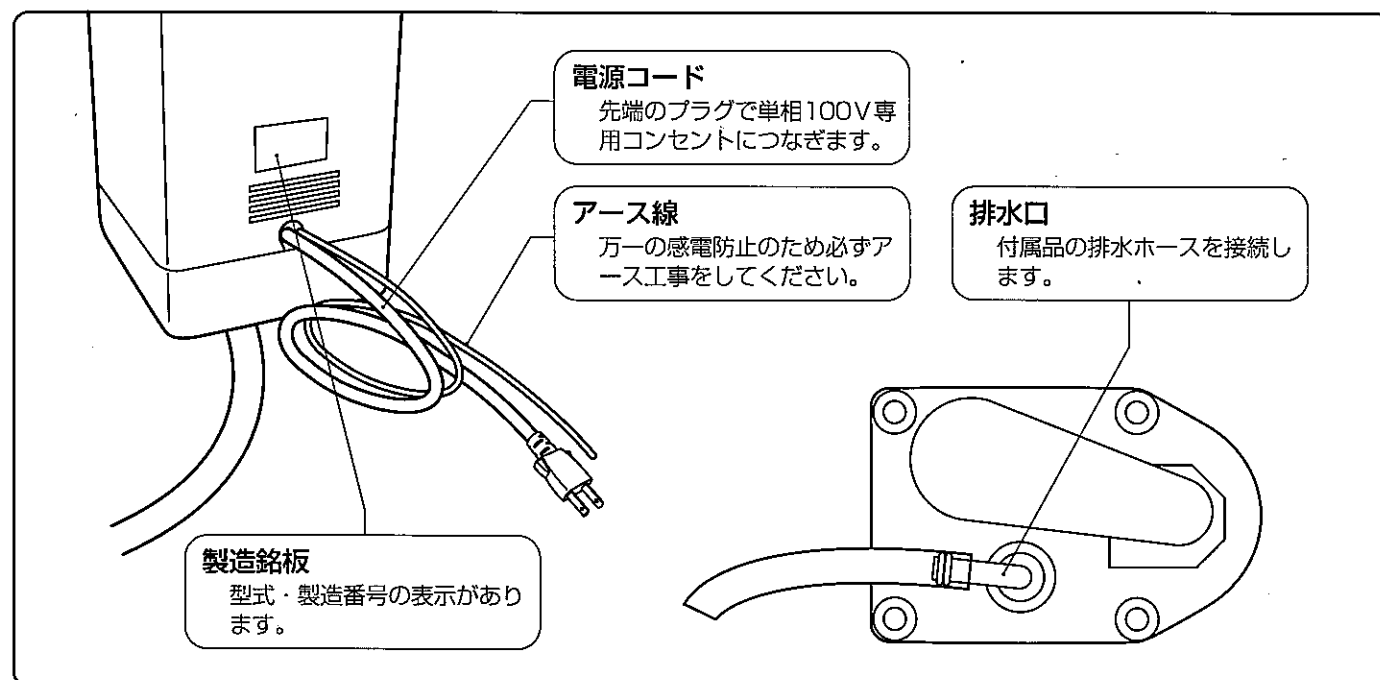
専門業者

このお使いになっている製品を他に譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

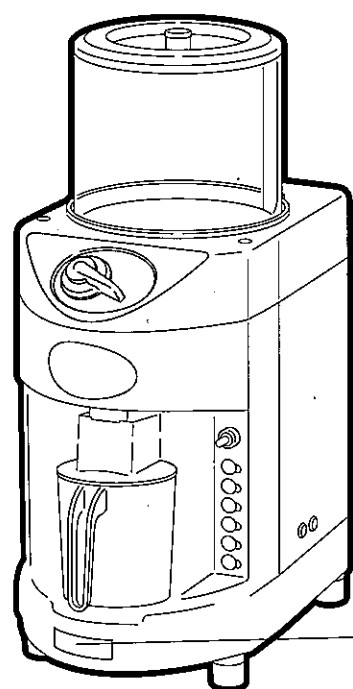
■排水について



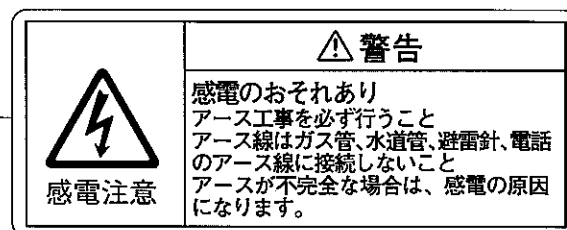
■注意ラベルの貼付位置

お願い

- ラベルを剥がさないでください。
- ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。
ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

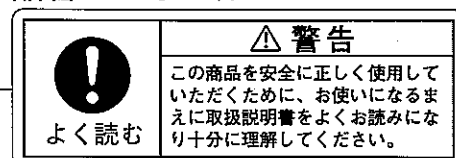


品名：PLラベル／カンデン 702



(本体背面に貼り付けてあります)

品名：PLラベル 701



(本体前面の下部に貼り付けてあります)

設置と運転前の確認

■設置

警告	この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと 感電、ケガの原因になります。 禁止
アース工事を必ず行なうこと アース線はガス管、水道管、避雷針、電話の アース線に接続しないでください。アースが不完 全な場合は、感電の原因になります。(電気工 事業者によるD種接地工事が必要です。) アース工事	湿気の多い所や、水のかかり易い場所に 据え付けしないこと 絶縁低下から漏電、感電の原因になり ます。 湿気禁止
電源は専用コンセントを使用すること 電源コードは途中で接続したり、延長コー ドの使用及びタコ足配線をした場合には、 感電や発熱、火災の原因になります。 専用電源	熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置か ないこと 熱でプラスチックが溶けたりして危険 です。 熱器具禁止

注意	水滴が落ちてもしよいところに据え付ける こと 結露の水の洩れ、かき氷の飛び散りなどで 周囲の機器を濡らすことがあります。 設置場所
丈夫で平らな所に水平になるように据え 付けること 据え付けに不備があると転倒、落下による ケガなどの原因になることがあります。 水平設置	直射日光の当たるところで使用しないこと プラスチックが割れたりして危険です。 禁止

■運転前の確認

- 電源は交流100Vに接続してください。
使用電源電圧は90V～110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。
- 初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削室に入っている恐れがありますので、切削室内の掃除をしてください。(P.16 毎日のお手入れ参照)

■その他

- チップアイスを使用してのかき氷（スライス氷）について。
お使い初めに、チップアスを投入しますと、切削室の表面温度が高く、一杯目は質の良くない(水気の多い) かき氷(スライス氷) になることがありますので、ご注意ください。
- 地域によっては、イベント等での氷削機の使用が許可されていない場合がありますので当該機関（保健所等）までお問い合わせください。

ご使用方法

警告

運転中に投入口フタを開けたり、切削室の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。



禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

注意

切削室の中に氷以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)は入れないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



異物禁止

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、削った氷は捨て、氷以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)や刃物の破片が切削室の中に入っていないことを確認すること

ケガの原因になることがあります。



異物確認

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

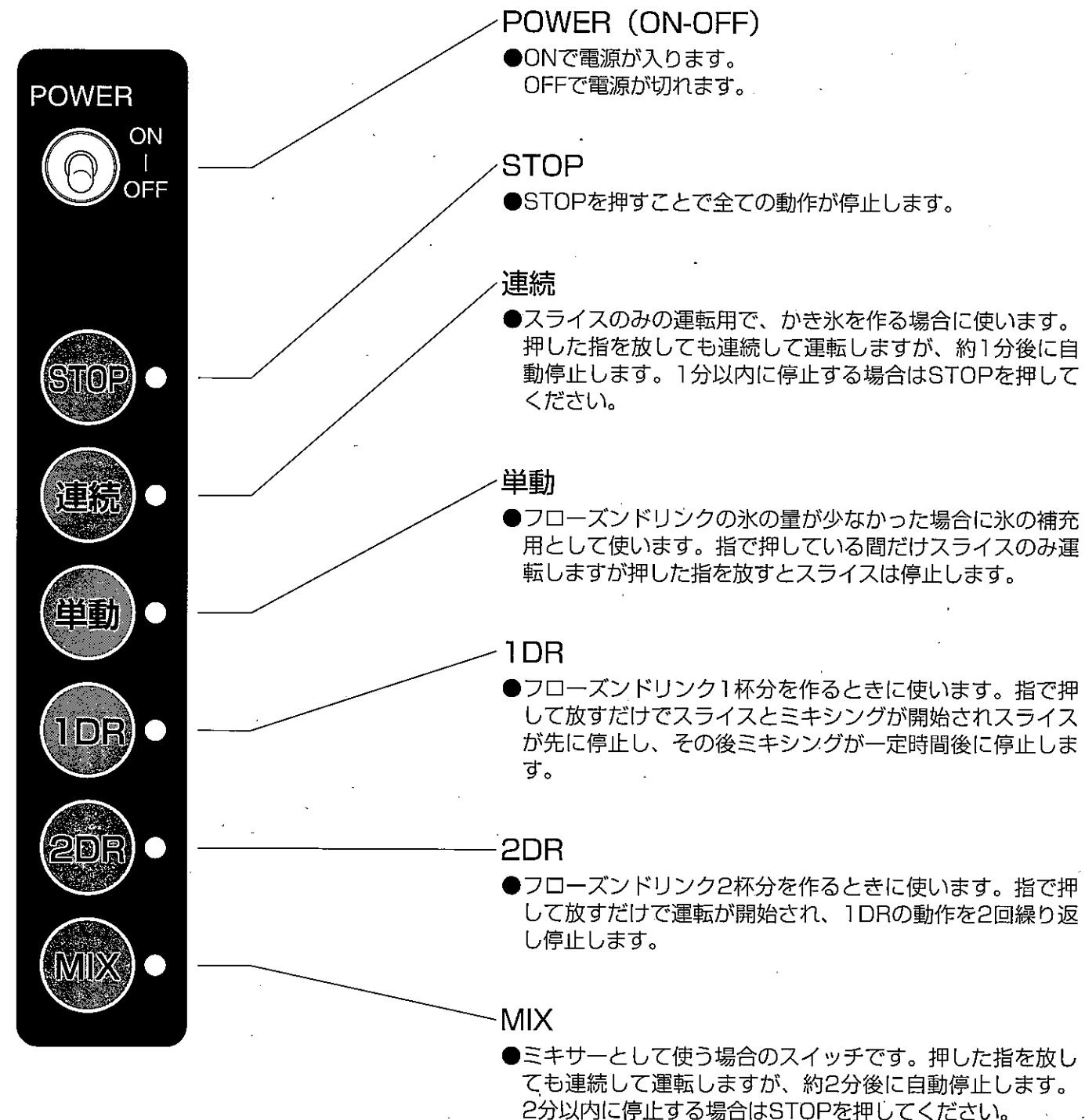


プラグを抜く

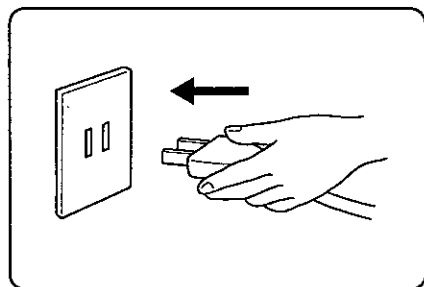
お願い

- (1) 霜がつくほど冷えた氷は硬すぎて切削には不適當です。透明になるまで待って使用してください。硬すぎる氷を使用して削られた氷は、粉のような「かき氷」になり、綿のような本来の「かき氷」にはなりません。また、刃物の刃先が曲がったりして、削れなくなることもありますので、必ず透明になるまで「ゆるめ」からお使いください。
- (2) クラッシュとスライスの切換は製品の運転中に行なわないでください。故障の原因になります。
- (3) 切削室に残ったキューブアイスは取り出せません。「投入量のめやす」(P.9)を参考にしてください。
- (4) 製品の上に物を載せないでください。

操作パネルの説明

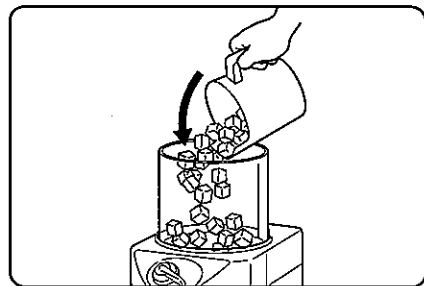


■運転の準備



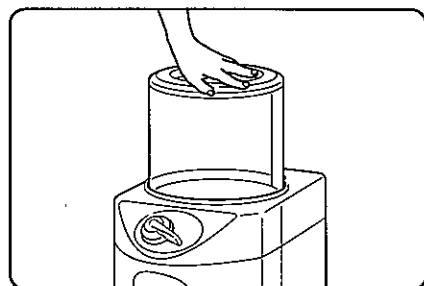
1 電源プラグを差し込む。

- 電源スイッチがOFF(切)になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



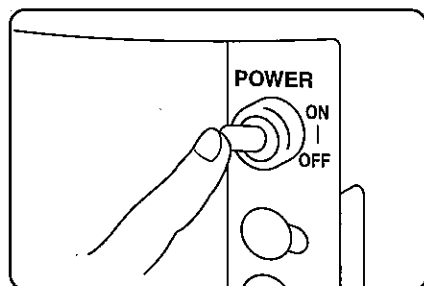
2 キューブアイスを入れる。

- 製品が止まっていることを確認し、ストッカーフタを開けてください。
 - 必要量の氷を入れてください。
 - 投入量は投入口から1cm下がったところまでに均一に入れてください。かたよりは振動の原因になります。
- 投入量のめやす…1杯200gの場合キューブアイス8～9個
投入可能量…約120個



3 ストッカーフタを確実に閉める。

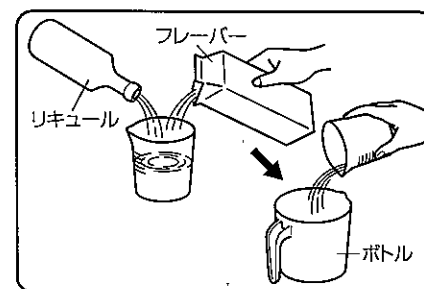
- 確実にフタが閉まっていないと安全スイッチが働き製品が動きません。



4 電源スイッチをON(入)にする。

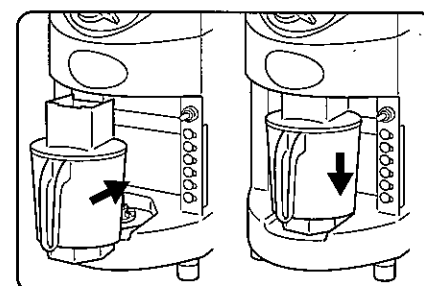
- 電源スイッチをON(入)にすると、操作パネルのSTOPランプ(赤)が点灯します。
- ※STOPランプ(赤)は電源スイッチをONにしてから1～2秒遅れて点灯しますが、異常ではありません。

■フローズンドリンクを作る場合



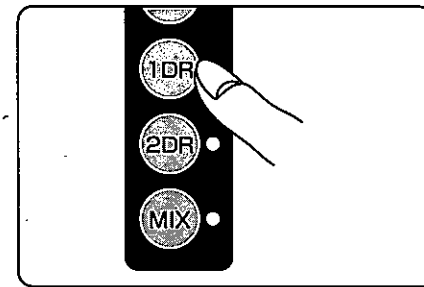
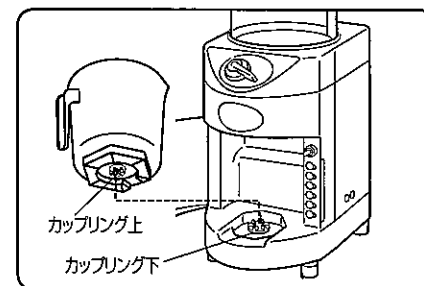
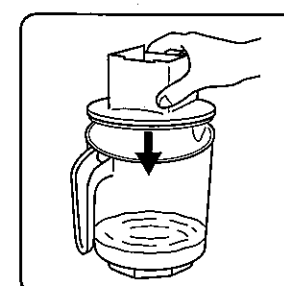
1 フレーバー(果実液)、リキュールまたは、水をボトルに入れる。

- 標準フローズンカクテル1杯分(約300cc)を作る場合の材料の目安は、フレーバー(果実液)約120cc・リキュールまたは水が約30ccになります。
- ※フレーバー(果実液)は完全に解凍してからご使用ください。解凍が不完全な場合、フローズンドリンクができなくなります。



2 ボトルをセットする。

- ボトルフタをはめて、本体のミゾに沿ってスライドさせます。奥まで入ってから、下方方向に落とすとカップリングにセットされます。
- ※必ず確実にセットされているか確認をしてください。ボトルが確実にセットされていないと、故障の原因になります。



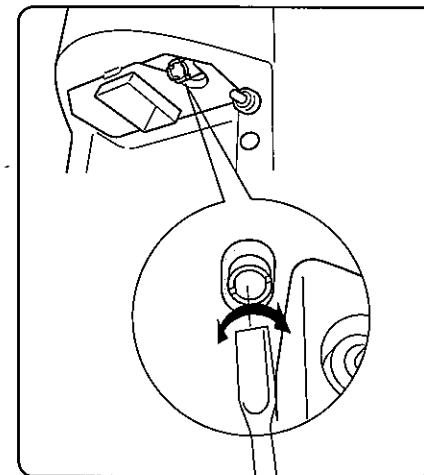
3 ドリンクボタンを押す。

- ご希望により1ドリンク(1DR)または、2ドリンク(2DR)のボタンを押すと運転が開始されます。
- スライス・ミキシングを自動的に行います。
- 氷削中に投入口フタを開けると、安全スイッチが作動し製品が停止します。安全スイッチを電源のかわりに使わないでください。故障の原因になります。

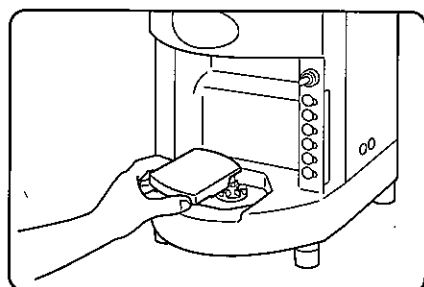
うまくできない?と思ったら

- できあがり柔らかすぎる場合
スライス氷を追加してください。①単動ボタンを押して必要な分量だけスライス氷を出します。②MIXボタンを押してミキシングさせます。ミキシング状態を確認してSTOPを押せばできあがりです。
- できあがり硬すぎる場合
フレーバー(果実液)を数滴追加します。①ボトル内にフレーバーを追加し、MIXボタンを押して追加ミキシングさせます。②ミキシング状態を確認してSTOPを押せばできあがりです。
- できあがり遅い場合
刃物調節ネジをコイン又はマイナスドライバーで右へ回して氷の出を早く(多く)します。お好みの状態になるまで、以上の工程を行ってください。

※刃物調節ネジは目安で5くらいの間隔で右へ回し、お好みの氷の量にしてください。あまり大きく回すと、氷が出過ぎます。

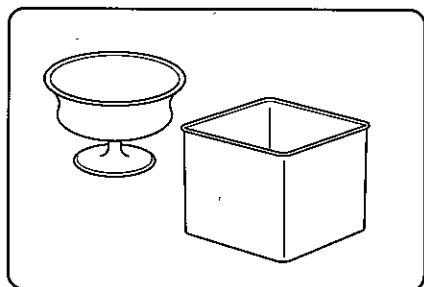


■かき氷又はクラッシュアイスを作る場合



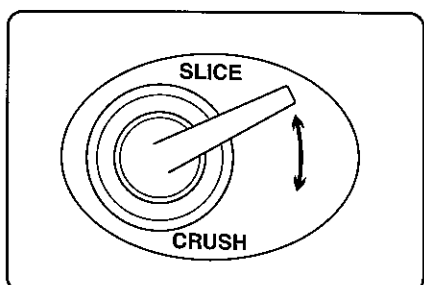
1 カップリングカバーをかぶせる。

- 付属のカップリングカバーをミキシングのカップリング部にかぶせてください。誤って1DRや2DR及びMIXボタンを押してしまったときにミキシング機能が動作します。安全のため必ずかぶせてください。



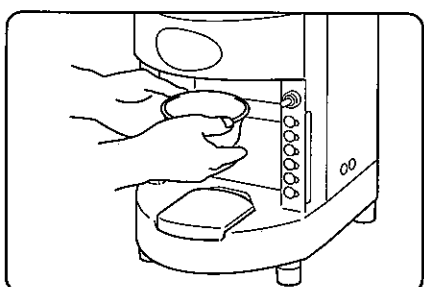
2 容器を準備する。

- かき氷またはクラッシュ氷を受ける容器を準備してください。



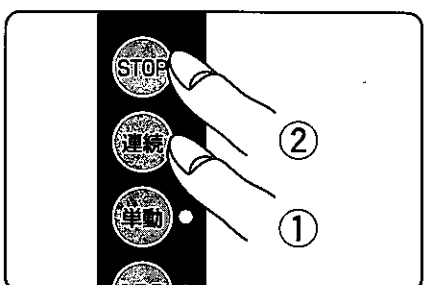
3 切替レバーを切り替える。

- 切替レバーをかき氷の場合はSLICEに、クラッシュ氷の場合はCRUSHに切り替えてください。(切替レバーの操作は、運転中には行わないでください。)



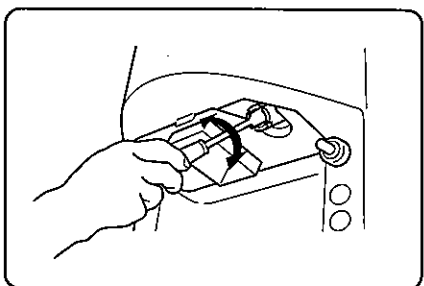
4 容器を添える。

- かき氷またはクラッシュ氷を受ける容器を氷出口部に添えてください。



5 連続ボタンを押す。

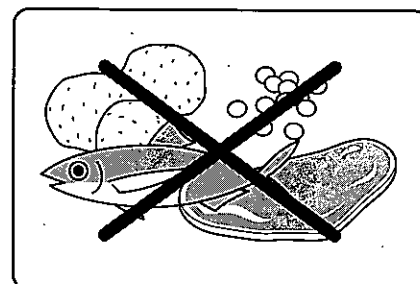
- 操作パネルの連続ボタンを押すとスライスまたはクラッシュが開始されます。
- 適量になりましたら、STOPボタンで製品を停止させてください。
- 単動ボタンの場合は押している間だけ運転します。



6 粗さ調節の仕方。

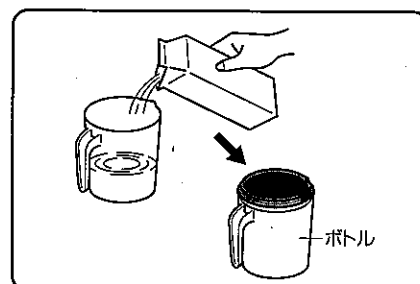
- かき氷の粗さの調節は刃物調節ネジで調節してください。右へ廻すと粗く、左へ廻すと細くなります。調節はコインまたはマイナスドライバーでできます。(クラッシュ氷の粗さは一定になります。粗さ調節はできません。)

■ミキサーとして使う場合



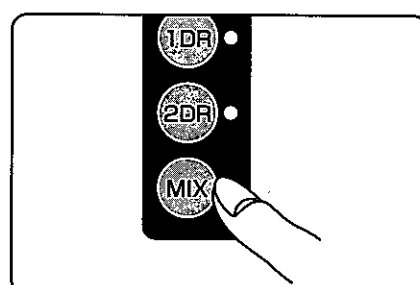
1 禁止材料。

- 以下の材料のミキシングは避けてください。
 - 硬いもの(乾燥大豆や乾物類・氷だけ・冷凍食材)●粘りけのある材料(とろろ芋・ゆで卵・ゆでジャガイモなど)●肉・魚類
- ※氷は2cm角以内の大きさを液体と混ぜてミキシングしてください。氷だけでのミキシングは避けてください。
- ※禁止材料のミキシングはカッターの破損やモーター故障の原因になります。



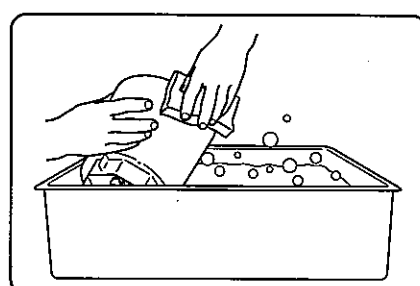
2 材料を準備する。

- ボトルに液体(水や牛乳など)を先に入れてからリンゴや人参などの食材を入れます。ボトルに付属のミキサー用ボトルブタを被せ、製品にセットしてください。
- 食材は2cm角程度に切って入れてください。大きすぎるとロックして故障の原因となります。



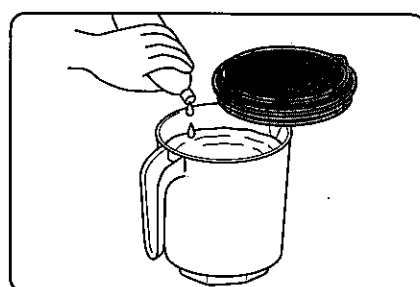
3 ミキシングの開始。

- ボトルが製品に確実にセットされていることを確認してから、操作パネルのMIXボタンを押してください。押した指を放しても、約2分間は連続運転します。2分以内に停止させるときは、STOPボタンを押して停止させてください。2分以上ミキシングするときには、自動停止後再度MIXボタンを押してください。



4 ボトルの洗浄。(外部)

- スポンジたわしや柔らかい布及びブラシなどで洗ってください。(硬い布や金属たわしなどは使わないでください。)



5 ボトルの洗浄。(内部)

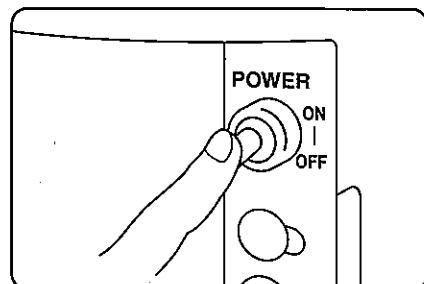
- ボトルの中の食材を水で流し出した後、約100ccの水と中性洗剤を1〜2滴入れてください。ボトルに付属のミキシング用のフタを被せ、製品にセットしてMIXボタンを押してミキシングすればカッターの裏も洗浄されます。

ご注意

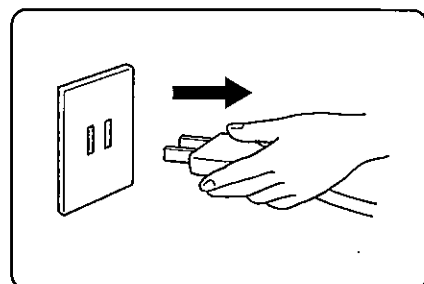
- ※リンゴや人参などは2cm角程度の大きさにしてボトルに入れてください。大きすぎる場合はカッターに引っかかって運転が止まることもあり、故障の原因になります。
- ※カッターに材料が引っかかって回らないときは、すぐにSTOPボタンを押して製品を停止させてください。材料を取り出し、2cm角以内の大きさにして入れなおしてください。
- ※洗浄に水及び中性洗剤以外は使わないでください。必ず、洗浄後は十分に水洗いして乾燥させてください。(食器乾燥機や温風器などは使わないでください。)
- ※ボトルは水につけたままにしないでください。
- ※以上は破損や故障の原因になりますので厳守してください。

■プロテクターについて

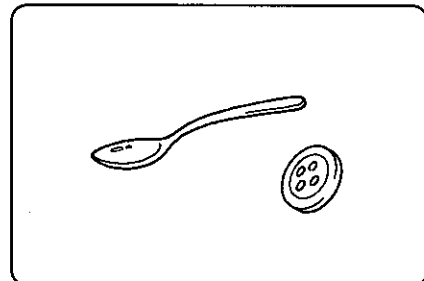
- モーターに負荷がかかり過ぎると自動的に製品を止める装置です。
- 定格時間は「20分」です。それ以上連続使用するとモーターが過熱しプロテクターが作動して、製品が停止します。また、負荷がかかり過ぎた時にも同様に製品が停止します。
- プロテクターは、モーターに内蔵しております。
- 作動したときは、次の処置をしてください。



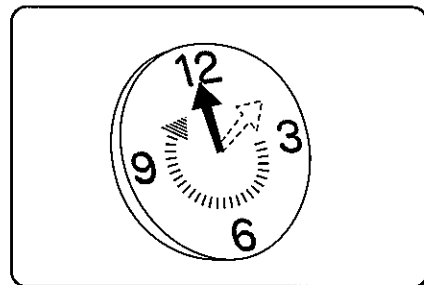
1 電源スイッチをOFF(切)にする。



2 コンセントから電源プラグを抜く。



3 過負荷の原因を取り除く。
(例)氷以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)が切削室に入った場合は、刃物を取り外して(P.14参照)から異物を取り除いてください。また、刃物に損傷がないか確認してください。



4 1時間放置してください。
●自動的に復帰いたします。
※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

■安全スイッチについて

- 氷削運転中に投入口フタを開けると、危険防止の為、安全スイッチが働き製品が停止します。
- 安全スイッチを電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。

刃物の交換のしかた

！警告

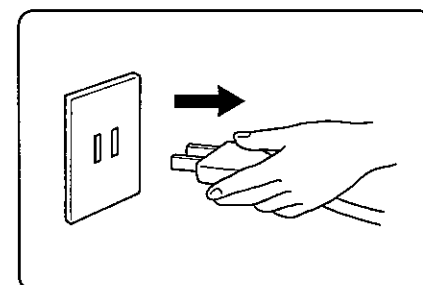
切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと。

ケガの原因になります。

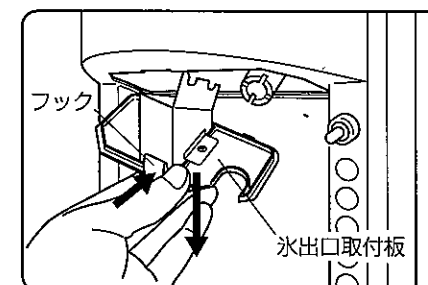


禁止

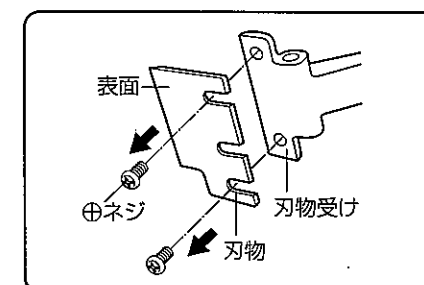
■スライス刃物の取り外し・取り付け方



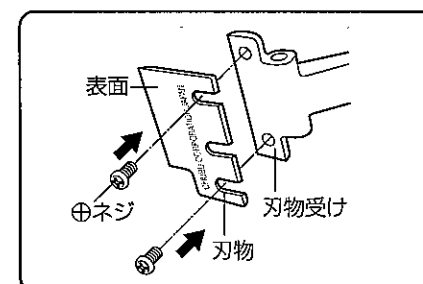
1 電源スイッチをOFF(切)にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



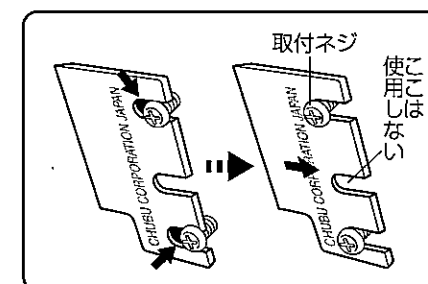
2 氷出口手前のフックを押えながら下へ引くと氷出口取付板が外れます。



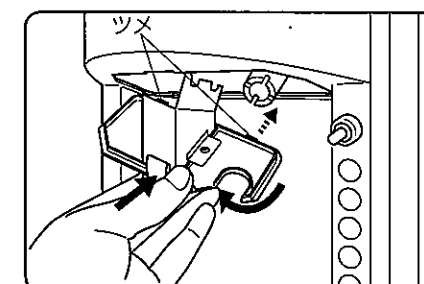
3 刃物受と刃物を取り付けている2本の⊕ネジを⊕ドライバーで取り外してください。



4 新しい刃物に⊕ネジを通して刃物受に軽く止めてください。刃物の向きは刻印が上図のようにしてください。



5 刃物取付穴2ヶ所のU字部が刃物取付ネジに当たるように押え、刃物取付ネジでしっかり固定してください。



6 氷出口取付板奥のツメ(2ヶ所)を本体取付口にはめ、フックを押えながら上方に押し上げて取り付けます。

警告

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

切削室内を掃除する時は、必ず刃物を切削室内面より下げ、拭く時は必ず時計方向に拭くこと

ケガの原因になります。



掃除注意

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと
ケガの原因になります。



プラグを抜く

氷出口や切削室内に手・指を入れた状態で刃物切替レバーを切り換えないこと

指をはさみ、ケガの原因になります。



禁止

注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

切削室・氷出口は使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康被害の原因になることがあります。



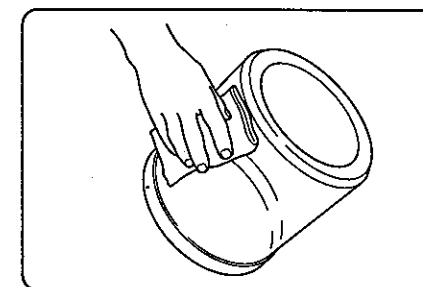
掃除

お願い

- 40℃以上のお湯で洗わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- プラスチック部には、つぎのようなものは使わないでください。プラスチック面をいためます。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜鉛素酸ソーダ・たわしなど。ただし、化学雑巾・アルコール除菌剤をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

毎日のお手入れ

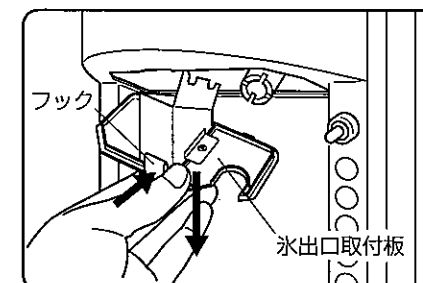
●投入口フタ・ストッカーカバー・ストッカー・頭フレーム



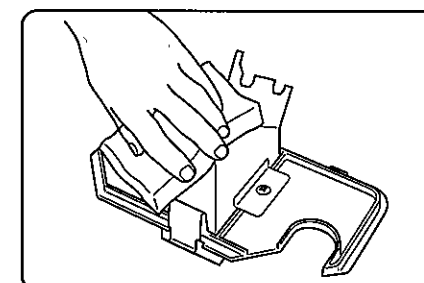
- 1 めるま湯を含ませたふきんでよく拭いたあと、乾いたふきんでよく拭きとってください。

- 2 〈取り外し方〉
ストッカーカバーは上方に持ち上げると外れます。
ストッカーは両手で時計方向に回すとロックが外れます。上に持ち上げて外します。

●氷出口

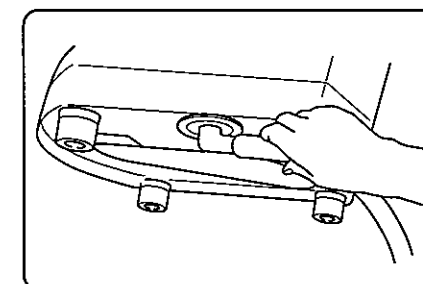


- 1 ■スライス刃物の取り外し・取り付け方(P.14)を参照して、氷出口取付板を外します。

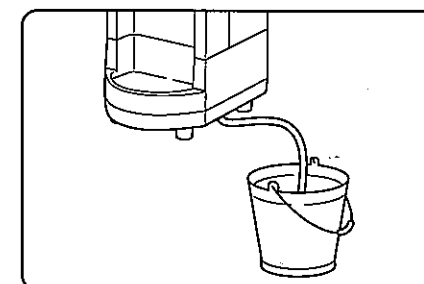


- 2 めるま湯を含ませた布巾でよく拭いてください。氷出口内面はキズが付かないようスポンジ等軟らかいものをご使用ください。キズが付くと氷が詰まる場合があります。

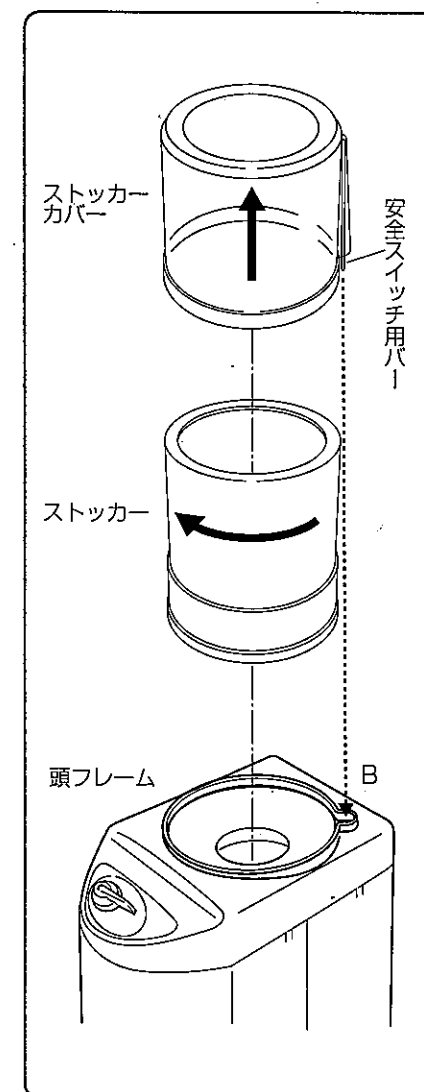
●排水の仕方



- 1 製品を傾けて、裏側中央の排水パイプに付属の排水ホースを差し込んでください。

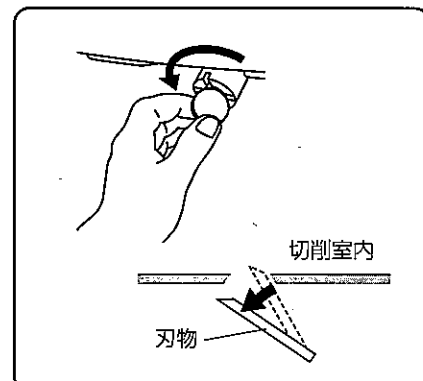


- 2 排水ホースは左右と後ろから引き出すことができます。排水ホースより流出する水をバケツ等で受けてください。



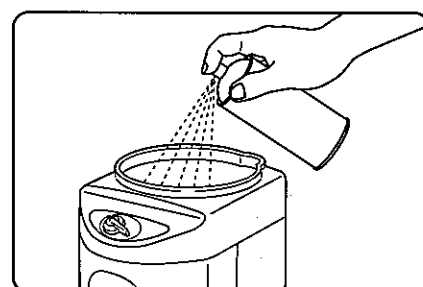
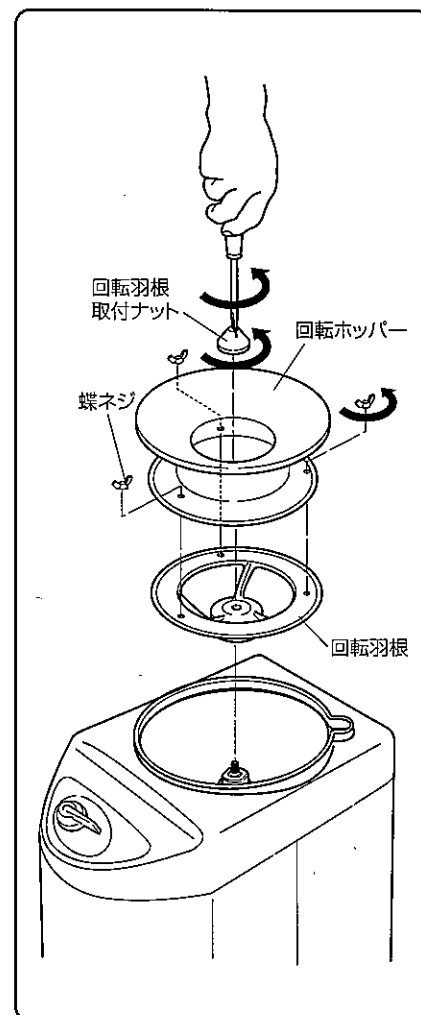
■一週間に一回のお手入れ

●切削室内

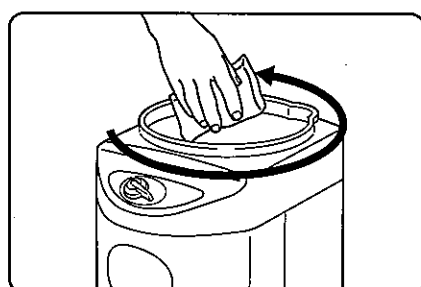


- 1 刃物調節ツマミをコイン又はマイナスドライバーで反時計方向にいっぱい回して刃物を切削室内面より下げてください。

- 2 <取り外し方>
・回転羽根取付ナットをコインか⊖ドライバーで反時計方向にゆるめると回転ホッパーと回転羽根が外れます。
・回転ホッパーと回転羽根は蝶ネジ(3ヶ所)を手で反時計方向にゆるめると外せます。



- 3 切削室内は市販の食器・調理起用アルコール(エチルアルコール)などを吹き付けてお手入れしてください。



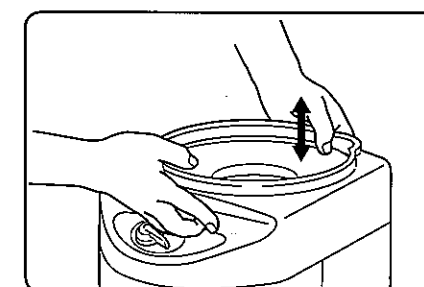
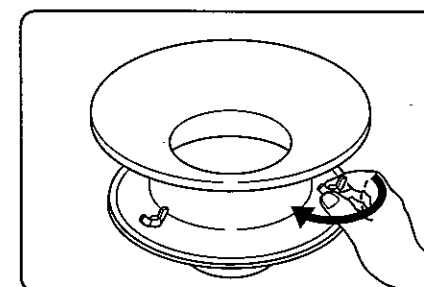
- 4 柔らかい布にぬるま湯を含ませて「時計方向」に拭いてください。※切削室内に直接水を掛けての掃除はしないでください。



- 5 お手入れ後、逆の手順で組み立てます。

ご注意

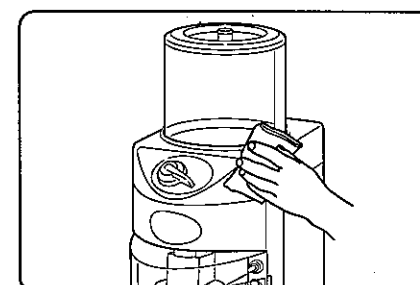
- 回転ホッパーと回転羽根は蝶ネジ(3ヶ所)を手で時計方向に確実に締めて組み立てます。
- 次に回転羽根取付ナットをコインか⊖ドライバーで確実に時計方向に回し回転ホッパーと回転羽根を確実に締めつけてください。
- 締め付けが弱いと回転羽根が刃物、または切削室内面に当たりますので確実に行ってください。



- 6 締め付け後、回転ホッパーと回転羽根の端を軽く手で押さえて、ガタツキのあるときは確実に固定されていないため、再度ガタツキの無いように回転羽根取付ナットを締め付け直してください。

■汚れが目立つときのお手入れ

●本体外面



- 1 柔らかい布にぬるま湯を含ませて拭いてください。落ち難い汚れはぬるま湯か水でうすめた食器用洗剤をしみこませた布で拭いてください。その後洗剤分が残らないように水拭きしてください。

点検

■1年に1～2回の点検

警告

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガツツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

アース線の点検

- アース線は切れたり、接続部がゆるんでいませんか？

異常がある場合は、電気工事店に依頼してください。

電源コード・プラグの点検

- 専用コンセントを使用されていますか？

他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。

- 電源プラグの刃の取り付け面及びコンセントに、ホコリが溜まっていませんか？

ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。

- 電源コードが傷ついたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか？

異常がある場合は販売会社または、電気店に相談してください。

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品をを十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

故障の見分け方と処置方法

警告

修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理しないこと
(刃物交換・お手入れ作業は除く)

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

お願い

- 故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。

販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。

現 象	お調べいただきたいところ	処 置 方 法
製品が動かない	●電源プラグが抜け落ちていませんか？	●コンセントに差し込んでください。
	●投入口フタが開いていませんか？	●確実に閉めてください。
	●プロテクターが作動していませんか？	●プロテクターの項参照。(P.10参照)
製品は動くが氷が削れない	●刃先が十分出ていますか？	●刃物を出してください。
	●刃物が切れなくなっていますか？	●刃物を交換してください。(P.11参照)
製品は動くが氷が砕けない	●切換レバーがスライスになっていませんか？	●クラッシュに切り替えてください。
ミキシングが上手くできない	●フレーバー(果汁液)が解凍されていますか？	●フレーバーを確実に解凍してください。
	●フレーバは標準のものを使用していますか？	●標準のフレーバーを使ってください。
ボトルにスライスされた氷が入らない	●氷出口がつまっていますか？	●氷出口の削れた氷を取り除いてください。
フローズンがもれる・あふれる	●ボトルにボトルキャップがはまっていますか？	●ボトル蓋を確実ににはめてください。
	●氷やフレーバーが多すぎませんか？	●もれたり、あふれたりしない量にしてください。

■譲渡

⚠ 注意

このお使いになっている製品を他に譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること



テープ止め

■廃棄

⚠ 注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃棄は危険な物として処理してください。



専門業者

仕様

品 名	マルチスライス&ブレンダー
型 式	SB-20N
電 源	単相100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	400/500W
定 格 電 流	5.0/4.5A
定 格 時 間	20分
氷収容量(キューブアイス)	約120個
質 量(重 量)	19.5kg
外形寸法(幅×奥行×高さmm)	260×425×630
氷 削 能 力 (kg/min)	1.2/1.6
砕 氷 能 力 (kg/min)	9.6/11.4